

会 議 録 (要約版)

会 議 の 名 称	平成31年度第1回弘前市上下水道事業経営審議会
開 催 年 月 日	平成31年4月11日 (木)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後1時00分 から 午後3時 まで
開 催 場 所	樋の口浄水場管理センター 4階会議室
議 長 の 氏 名	弘前大学人文社会科学部教授 飯島 裕胤
出 席 者	会長 飯島 裕胤 会長職務代理者 齊藤 嘉春 委員 竹内 智 委員 三上 久志 委員 溝江 初子 委員 島田 しのぶ 委員 齋藤 嘉 委員 中澤 キヨ
欠 席 者	委員 佐々木 薫子
上下水道部職員 の職氏名	上下水道部長 坂田 一幸 総務課長 高橋 秀男 営業課長 熊谷 義昭 工務課長 山本 正行 上水道施設課長 石川 竜明 下水道施設課長 中澤 勝 総務課長補佐 中村 洋幸 営業課長補佐 成田 嘉光 工務課長補佐 小野 敦弘 工務課長補佐 千葉 裕朗 上水道施設課参事兼補佐 京野 直文 下水道施設課長補佐 船水 利行 上下水道部主幹 三上 敏彦 総務課主幹 田沢 司 総務課主幹 對馬 真理子 総務課企画係長 相馬 孝康 営業課営業係長 廣田 恒央 下水道施設課主幹 丹代 喜代一 下水管路維持係 小林 洋樹 上水道施設課総括主査 乳井 浩 総務課主事 藤田 恵伍 総務課技師 早川 智貴
会 議 の 議 題	・ 会長の選任及び会長職務代理者の指名 ・ これまでの経営審議会について ・ 上下水道事業の概要について ・ 平成31年度水道事業会計及び下水道事業会計の予算概要について
会議資料の名称	資料1-1 弘前市附属機関設置条例 資料1-2 弘前市上下水道事業経営審議会運営規則 資料1-3 弘前市上下水道事業経営審議会取扱要綱 資料2 これまでの経営審議会について 資料3 上下水道事業の概要について 資料4 平成31年度水道事業会計及び下水道事業会計の予算の概要について
会議内容 (発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)	1 委嘱状交付 2 開会 3 上下水道部長挨拶 4 委員紹介 5 条例・規則説明 6 案件 (1) 会長の選任及び会長職務代理者の指名 7 報告 事務局より一括で説明。

(1) これまでの経営審議会について

資料2を基に、事務局側より説明。

(2) 上下水道事業の概要について

資料3を基に、事務局側より説明。

(3) 平成31年度水道事業会計及び下水道事業会計の予算の概要について

資料4を基に、事務局側より説明。

※事務局説明後の進行：議長（飯島会長）

各委員との質疑応答は以下のとおり。

飯島会長

今年度の主な事業として、更新事業・耐震化事業、管路の改築事業等ございましたが、全国的にも話題となっていますので、進捗状況について教えてください。

工務課長

まず、樋の口浄水場等建設事業は、現在、公募型のプロポーザル方式で事業者を選定することで、事業の概要、対象となる施設、事業のスケジュール、参加資格条件等をホームページのほうに公表し、いろいろ作業をしている状況でございます。

老朽管更新事業は、10年間の全体の更新計画を立てております。全体の事業費ベースですと、事業費が約49億円の予定となっておりますが、平成30年度末で24億円、進捗率といたしましては約46%となっております。

主要管路耐震化事業につきましては、こちらのほうも、10年計画を立てておまして、10年間の全体の事業費が約19億円で、平成30年度では、事業費ベースで約9億円の執行となっております。進捗率としては、約7割が終わっている状況となっております。

下水道事業の公共下水道建設事業につきましては、平成29年度末の整備率となりますが、全体の約9割の進捗率となっております。特定環境保全下水道建設事業につきましては、これも平成29年度末の進捗率となりますが、約74%の進捗率となっております。

農業集落排水事業につきましては、弥生地区等を実施しておりましたが、平成30年度で100%終了しております。

管渠及び処理施設等改築事業につきましては、進捗率そのものという形では作業を進めておりませんでしたので、率的な数字は出ておりません。

飯島会長

進捗状況については、今後、予算的に大きな支出が見込まれるのかどうかを考える上で、非常に重要になると思いますので、どれくらい進んでいるのか、今後、ぜひ、教えていただけたらと思います。

今回、第1回目の会議ということで不慣れかもしれませんが、これまでの経験では、大体みなさん一人一回は会議で発言していただいておりますので、どんな意見や質問でもかまいません。市民目線をお願いします。

齊藤委員

公募委員の齊藤と申します。資料④の15ページ、下水道事業関係の企業債残高の推移が、明らかに目に見えて右肩下がりで、いい意味で減ってきていることが、とても面白い資料だなと思って拝見いたしました。この状況を今後とも続けていただくと、もちろん誰にとってもいいことであると思いますし、続けていただきたいし、続くと思います。そして、この状況をずっと続けていけそうな見通しがあるのかお伺いします。

上下水道部長

企業債は借金でございます。現在、やっとなら 400 億円をきったくらいです。下水道事業は昭和 37 年から始まりまして、最初の頃はずっと建設してまいりましたので、建設費で 1 千億円を超えていると思います。30 年ほど前の話ですが、借金が確か 700 何億円とか、大きな数字でした。

建設についてはひと段落しましたので、これから借金を返していくことになるかと推測されます。新たに建設しているものもありますが、そんなに大きなものはないですから、この調子でいけば、いつかは借金を返せるものと考えています。

水道に比べまして、下水道の管渠というのは、比較的寿命が長いです。管渠のほうは、古い所でいくと 50 年過ぎていますが、今後、入れ替えではなく、管を再生するような形で、また 100 年まで寿命を延ばして進めていく予定です。この傾向は、しばらくは続くと思っています。

島田委員

公募委員の島田です。会計等の内容ではないのですが、上下水道 PR 事業につきまして、小学生などの一般市民に対して、例えば浄水場の施設見学などはやっているのでしょうか。また、以前、夏頃に浄水場などの見学会のようなお祭りの開催について、ポスターで見たことがある気がするんですが、弘前市では、浄水場の見学会やイベントのようなものは行われているのですか。

	<p>上水道施設課参事兼課長補佐</p> <p>まず、小学生の見学につきましては、主に小学4年生だと思っておりますが、市内周辺の小学校が見学に来ていまして、水道に関する知見を深めていただくということでやっております。それから、一般の方につきましても、例えば老人クラブの方であるとか、町会単位などで、施設見学にいらしていただくこともあります。事前の予約が必要になるんですが、希望していただければ、市民の方どなたでも施設見学が可能となっております。</p> <p>島田委員</p> <p>夏に、予約無しで公開をするイベントのようなものは開催していないんですか。</p> <p>上水道施設課参事兼課長補佐</p> <p>以前は、6月の第1週の水道週間に合わせたイベント等を市内の催事場のような所で開催していました。現在はカルチャーロードで、下水と水道を合わせた形のブースを出展しまして、両方のPRを行っています。</p> <p>島田委員</p> <p>では、このPR事業に取られている予算というのは、カルチャーロードに係る予算ということでしょうか。</p> <p>上水道施設課参事兼課長補佐</p> <p>それも含まれてはいるんですが、そのほか、さらに一般の市民の方により水道を知っていただく事業を、これから進めていくうえでの予算も含まれております。</p> <p>8 浄水場施設見学</p> <p>9 閉会</p>
その他の事項	<ul style="list-style-type: none"> ・会議は公開。 ・傍聴者は2名。 ・報道機関取材は2社。